

2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年1月18日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンコスメジャパン

コード番号 4929 URL http://www.adjuvant.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 健二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 中川 秀男 TEL 078-351-3136

四半期報告書提出予定日 2019年1月25日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年3月21日～2018年12月20日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	3,917	△0.7	287	△48.7	332	△41.4	117	△67.3
2018年3月期第3四半期	3,943	7.1	561	△10.1	567	△10.1	358	△19.1

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 117百万円 (△67.3%) 2018年3月期第3四半期 359百万円 (△17.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	14.78	14.70
2018年3月期第3四半期	45.32	45.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	5,920	4,642	78.4	583.51
2018年3月期	5,874	4,663	79.4	589.36

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 4,642百万円 2018年3月期 4,663百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2019年3月期	—	0.00	—		
2019年3月期（予想）				24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年3月21日～2019年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,053	△0.9	162	△67.5	244	△52.0	16	△94.7	2.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2019年1月18日）公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	7,962,000株	2018年3月期	7,962,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	6,403株	2018年3月期	50,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	7,937,525株	2018年3月期3Q	7,909,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT Dnetで同日開示しております。

（日付の表示変更）

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移したものの、米中の貿易摩擦や米政権の運営不安等の影響により依然として先行き不透明な状況となっております。

美容業界におきましては、顧客単価の下落、来店サイクルの長期化等、サロン※注1経営において厳しい環境が続いており、当社商品を販売するアジュバンサロン※注2においても同様の影響がありました。

このような状況のもと、当社グループは、営業方針を「年間販促計画の策定と実行」「カウンセリングの知識・技術の習得」「アフターフォローの習慣化」「顧客分析の徹底と関係性の強化」として掲げ、サロンの安定した経営サポートを目指しております。

売上高につきましては、スキンケア商品及びヘアケア商品は、サロンにおける店販売上の回復により計画通りに推移しておりますが、連結子会社の売上高減少に伴う影響により当第3四半期連結累計期間の売上高は3,917百万円(前年同期比0.7%減)となりました。詳細は次ページの区分別売上高の概要をご参照ください。なお、アジュバンサロン登録軒数につきましては、当第3四半期連結会計期間末で7,280軒(前期末比401軒増)となりました。

新商品に対する在庫管理コスト及び販売促進費の増加、物流コスト増加に伴う荷造運搬費の増加や人件費等の販売費及び一般管理費の増加により利益面では、営業利益287百万円(前年同期比48.7%減)、経常利益332百万円(前年同期比41.4%減)となりました。

また、連結子会社であるエクシードシステム株式会社に係るのれんの減損損失47百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は117百万円(前年同期比67.3%減)となりました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりであります。

区分	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額 金額(百万円)	増減率 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)		
スキンケア	1,593	40.4	1,451	37.0	△142	△8.9
ヘアケア	1,804	45.8	2,160	55.2	355	19.7
その他	804	20.4	593	15.2	△210	△26.2
売上割戻金	△259	△6.6	△288	△7.4	△29	—
合計	3,943	100.0	3,917	100.0	△26	△0.7

(注) 1. エクシードシステム株式会社(連結子会社)、ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED(連結子会社)の売上高は、「その他」に含んでおります。

2. 第1四半期連結会計期間より、従来「カラー剤」に区分しておりました「カラー剤商品」を「ヘアケア」に含めております。これに伴い、前第3四半期連結累計期間の売上区分の組み替えを行っております。

3. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しております。

国内海外別売上高は、次のとおりであります。

区分	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額 金額(百万円)	増減率 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)		
国内売上高	3,704	93.9	3,728	95.2	24	0.7
海外売上高	239	6.1	188	4.8	△50	△21.0
合計	3,943	100.0	3,917	100.0	△26	△0.7

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしておりませんが、区分別売上高の概要は以下のとおりであります。

(スキンケア)

スキンケア商品の売上高は、前期リリースしたダイヤモンドジェイ(DJ)シリーズの販売が平準化したため減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,451百万円(前年同期比8.9%減)となりました。

(ヘアケア)

ヘアケア商品の売上高は、新シリーズであるクラスSの販売が堅調に推移したことと、当第3四半期連結累計期間では、既存シリーズとの自社競合の影響が想定よりも少なかったため増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,160百万円(前年同期比19.7%増)となりました。

(その他)

連結子会社のコンピューターソフトウェア関連の売上高は、オンプレミス型からクラウド型へ当初の計画より早めに切り替えたことによるハードウェアの販売・開発案件の減少により、当初の計画を下回って推移したため、当第3四半期連結累計期間の売上高は593百万円(前年同期比26.2%減)となりました。

なお、MAPシステム※注3におきましては、当第3四半期連結会計期間末における契約件数が230件(前期末比8件減)となりました。

※注1「サロン」

理美容室・エステティックサロン・ネイルサロン・アイラッシュサロン・美容クリニック等を指します。

※注2「アジュバンサロン」

初回に100千円以上の仕入を行い、当社グループが指導する商品の案内方法等を定めたアジュバンサロン契約を締結したサロンを指します。

※注3「MAPシステム」

サロンの顧客管理、経営分析のために提供しているクラウド型経営サポートシステムを指します。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して46百万円増加し、5,920百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して90百万円増加し、3,415百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の減少239百万円、受取手形及び売掛金の増加89百万円、商品及び製品の増加188百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して44百万円減少し、2,505百万円となりました。主な変動要因は、研究所の建築工事に伴う建設仮勘定の計上等による有形固定資産の増加90百万円、のれんの償却額及びのれんの減損損失の計上によるのれんの減少61百万円、売却等による投資有価証券の減少53百万円によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して63百万円増加し、783百万円となりました。主な変動要因は、買掛金の減少41百万円、賞与支給による賞与引当金の減少52百万円、未払金の増加等による流動負債のその他の増加152百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して3百万円増加し、495百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金の減少15百万円、長期未払金の増加381百万円、役員退職慰労引当金の減少379百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して20百万円減少し、4,642百万円となりました。主な変動要因は、配当金の支払による減少189百万円、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分による増加39百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2018年4月20日付「平成30年3月期決算短信」で公表しました業績予想値を修正しております。詳細につきましては、本日(2019年1月18日)公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,794,557	1,554,716
受取手形及び売掛金	566,454	655,535
有価証券	100,000	100,000
商品及び製品	563,063	751,144
仕掛品	52,696	20,952
原材料及び貯蔵品	37,264	37,753
その他	215,386	299,869
貸倒引当金	△4,876	△4,896
流動資産合計	3,324,546	3,415,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	869,028	901,176
土地	719,814	720,678
その他	332,121	420,381
減価償却累計額	△505,844	△536,145
有形固定資産合計	1,415,120	1,506,090
無形固定資産		
のれん	61,487	—
その他	22,686	33,732
無形固定資産合計	84,173	33,732
投資その他の資産		
投資有価証券	792,837	739,070
その他	268,139	236,142
貸倒引当金	△10,218	△9,454
投資その他の資産合計	1,050,758	965,758
固定資産合計	2,550,051	2,505,581
資産合計	5,874,598	5,920,656
負債の部		
流動負債		
買掛金	184,883	143,276
1年内返済予定の長期借入金	27,080	20,100
未払法人税等	88,022	100,738
賞与引当金	103,187	50,423
その他	316,810	468,928
流動負債合計	719,984	783,466
固定負債		
長期借入金	37,855	22,780
長期未払金	2,906	384,470
退職給付に係る負債	38,713	39,342
役員退職慰労引当金	379,640	—
資産除去債務	14,938	15,398
その他	17,515	33,040
固定負債合計	491,568	495,031
負債合計	1,211,553	1,278,498

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	757,730	757,730
資本剰余金	717,662	729,434
利益剰余金	3,232,417	3,159,869
自己株式	△45,550	△5,833
株主資本合計	4,662,260	4,641,201
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,510	△2,378
為替換算調整勘定	3,295	3,335
その他の包括利益累計額合計	784	957
純資産合計	4,663,045	4,642,158
負債純資産合計	5,874,598	5,920,656

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年3月21日 至 2017年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年12月20日)
売上高	3,943,221	3,917,146
売上原価	1,447,862	1,514,487
売上総利益	2,495,358	2,402,658
販売費及び一般管理費	1,934,143	2,114,980
営業利益	561,214	287,677
営業外収益		
受取利息	1,860	4,923
受取配当金	608	467
受取家賃	1,403	4,930
保険返戻金	—	24,973
為替差益	—	3,139
雑収入	4,971	6,889
営業外収益合計	8,843	45,323
営業外費用		
支払利息	394	155
為替差損	2,087	—
雑損失	93	125
営業外費用合計	2,575	280
経常利益	567,483	332,720
特別利益		
固定資産売却益	—	1,018
投資有価証券売却益	3,885	200
特別利益合計	3,885	1,218
特別損失		
固定資産売却損	—	1,981
固定資産除却損	2,325	8,758
減損損失	—	47,297
特別損失合計	2,325	58,037
税金等調整前四半期純利益	569,043	275,901
法人税、住民税及び事業税	186,732	150,741
法人税等調整額	23,849	7,820
法人税等合計	210,582	158,561
四半期純利益	358,460	117,339
親会社株主に帰属する四半期純利益	358,460	117,339

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年3月21日 至 2017年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年12月20日)
四半期純利益	358,460	117,339
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,055	132
為替換算調整勘定	△3,809	39
その他の包括利益合計	1,246	172
四半期包括利益	359,707	117,511
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	359,707	117,511
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、役員の退職慰労金の支払いに備えて、内規に基づく期末要支給額を「役員退職慰労引当金」に計上しておりましたが、2018年6月15日開催の定時株主総会終結の時をもって役員の退職慰労金制度を廃止し、在任期間に対応する退職慰労金を打ち切り支給することとしました。

これにより、第1四半期連結会計期間において「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し、打ち切り支給額を「長期未払金」として計上しております。

(セグメント情報)

当社グループは、アジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。